

令和7年度

学生募集要項

一般選抜

(前期日程・後期日程)

令和6年9月



◎入学定員・募集人員

学部・学科	入学定員	募 集 人 員									
		総合型 選 抜	学 校 推 薦 型 選 抜				計	一 般 選 抜			
			大学入学共通テスト					前期 日程	後期 日程	計	
			課さない		課す						
推薦選抜Ⅰ	推薦選抜Ⅱ	推薦選抜Ⅲ									
システム科学技術学部	240	19	14	20	19	53	124	44	168		
機 械 工 学 科	60	7	4	4	3	11	32	10	42		
知能メカトロニクス学科	60	5	4	4	5	13	32	10	42		
情 報 工 学 科	40	2	2	4	4	10	20	8	28		
建築環境システム学科	40	3	2	3	4	9	20	8	28		
経営システム工学科	40	2	2	5	3	10	20	8	28		
生物資源科学部	150	8	16	17	10	43	71	28	99		
応用生物科学科	40	2	2	6	2	10	20	8	28		
生物生産科学科	40	2	2	4	4	10	20	8	28		
生物環境科学科	30	2	2	3	2	7	15	6	21		
アグリビジネス学科	40	2	10*	4	2	16	16	6	22		
合 計	390	27	30	37	29	96	195	72	267		

* 10人のうち5人は秋田県内の高等学校を卒業見込みの者から選抜し、その他5人は秋田県を含む全国の高等学校等を卒業見込みの者から選抜します。

◎一般選抜関係日程

	前期日程	後期日程
障害等のある入学 志願者の事前相談	令和7年1月22日(水)まで	
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～2月5日(水) 消印有効	
試 験 期 日	令和7年2月25日(火)	令和7年3月12日(水)
合 格 者 発 表	令和7年3月6日(木) 午後1時予定	令和7年3月20日(木) 午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和7年3月15日(土) 午後1時必着	令和7年3月27日(木) 午後5時必着

※ 試験日程等が変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

目 次

I	秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等	1
	・システム科学技術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
	・生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
II	一般選抜（前期日程・後期日程）募集要項	4
1	出願資格	4
2	併願上の注意	5
3	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	5
4	出願期間および出願方法	5
5	選抜方法	8
6	個別学力検査等の日時、試験場等	17
7	合格者発表	19
8	入学手続、初年度納付金等	19
9	授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について	21
10	入学試験成績の開示	23
11	個人情報の取扱いについて	23
12	試験場案内	24

I 秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等

● 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、次のような資質をもつ学生を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標をもち、実現に向け思考し判断して行動し、その成果と課題を的確に表現する力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもって主体的に行動し、多様な人々と協働して学び続ける力をもっていること

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる人材を養成するため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

【順次性・体系性を重視したクサビ型カリキュラム】

専門の知識・技術およびそれらを活用する力と、グローバルな視点、幅広い教養と基礎的能力を育成するために、教養科目と専門教育科目の体系的な教育課程を編成する。その際、1年次から専門教育科目を配置するとともに、3・4年次においても教養科目が履修できるクサビ型カリキュラムを採用する。

【多様な教育方法による資質・能力の育成】

実践的な知識・技術、問題を発見し解決する力と創造力を育成するため、演習・実験・実習を重視した教育課程を編成するとともに、卒業研究を実施する。また、社会で必要となる協調性・責任感や生涯学習能力を育成するため、少人数による能動的な学修および多様な教育方法を組み合わせた授業を行う。

【単位制度の実質化と厳格な学修成果の評価】

登録単位数の上限設定を通して十分な学修時間を確保するとともに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいた成績評価を行う。

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、現代社会が直面する諸問題を解決することを目指して、以下の能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

【知識・理解・技術】

1. 各専門分野の知識・技術を習得し、活用する力を身につけている

【教養・基礎的能力】

2. 幅広い教養と、外国語能力、情報活用能力、コミュニケーション能力などの基礎的能力を身につけている

【態度・志向性】

3. 多様な価値観を有する人々と倫理観・責任感をもって協働することができる
4. 時代の変化に主体的に対応するため継続的に学び、自律的に行動することができる

【問題発見・解決能力】

5. 専門の知識・技術および基礎的能力を統合し活用して、問題を発見し解決する能力を身につけている

【グローバル・創造的思考力】

6. 地域的・国際的視点をあわせもち、また、新たな価値を創造する力を身につけている

※このページの記載内容は全学のもので、学部、学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については2・3ページで確認してください。また、学部、学科の詳細な教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については本学ホームページを参照してください。

※本学には、成績優秀者を対象に奨学金を給付する特待生制度があります。その内の「入学生特待生」は、大学入学共通テストの結果が認定要件となっています。詳細については、21ページを参照してください。

システム科学技術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考^{※注}により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指している。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること 2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること 3. 旺盛な知的好奇心をもっていること 4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

※注）システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいう。

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

機 械 工 学 科	<ol style="list-style-type: none"> ①機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ②ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人
知能メカトロニクス学科	<ol style="list-style-type: none"> ①数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ②メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人
情 報 工 学 科	<ol style="list-style-type: none"> ①数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ②情報工学に関心を持ち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意を有する人 ③自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人
建築環境システム学科	<ol style="list-style-type: none"> ①基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ②建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人
経営システム工学科	<ol style="list-style-type: none"> ①経営工学を理解するのに必要な数学および科学全般の基礎学力を有する人 ②社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人 ③リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

【高等学校段階での修得が望ましい教科と内容】

理 科	物理基礎、化学基礎に加え、少なくとも物理または化学のいずれかを履修していることが望ましい。特に、機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科の4学科では、物理を履修していることが望ましい。
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cに加え、数学Ⅲを履修していることが望ましい。
英 語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力を有していることが望ましい。
その他	他の教科・科目については、コミュニケーションのために十分な国語力と、技術者として社会の持続的発展に資するための地理、歴史、公民に関する基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

【入学者選抜の基本方針】

システム科学技術学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを選抜区分毎に多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、入学者を選抜する。

一 般 選 抜	前 期 日 程	科学や工学の専門的知識を修得できるかを判断するため、大学入学共通テストによる基礎学力、個別学力試験の理科と数学の学力を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。
	後 期 日 程	大学入学共通テストによる基礎学力のほか、問題解決に取り組む資質や論理的な思考力、表現力を判断するため、個別学力試験での小論文を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。

生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身につけて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指す。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

応用生物科学科	①生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②専門分野の知識や能力を高めることに対して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人
生物生産科学科	①植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲を有する人
生物環境科学科	①身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人 ②自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探究心を有する人 ③自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人
アグリビジネス学科	①生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探究心を有する人 ②次代の農業・農村および食産業の発展を図ることに熱意を有する人

【高等学校段階での修得が望ましい教科と内容】

理科	生物基礎および化学基礎の知識を有していること。加えて、少なくとも生物または化学のいずれかを履修していることが望ましい。
英語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力に加え、身近な情報や自分の意見を英語で伝えられる能力を有していることが望ましい。
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cを履修していることが望ましい。
その他	他の教科・科目については基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

【入学者選抜の基本方針】

生物資源科学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを選抜区分毎に多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、入学者を選抜する。

一般選抜	前期日程	自然科学の専門知識を修得できるかを判断するため、大学入学共通テストによる基礎学力、個別学力試験の理科と英語の学力を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。
	後期日程	大学入学共通テストによる基礎学力のほか、問題発見能力や論理的な思考力、表現力を判断するため、個別学力試験での小論文を重視する。また、調査書で高校での主体性のある活動や態度などを評価する。

Ⅱ 一般選抜（前期日程・後期日程）募集要項

1 出願資格

次の①から③のいずれかに該当し、令和7年度大学入学共通テストで本学（学部・学科）の指定する教科・科目を受験している者が出願できます。

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む。）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和7年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者および令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、18歳に達したもの
 - カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達したもの

出願資格③のカにより出願を希望する者は、次の期限までに本学の入学資格審査を受け認定された場合のみ出願が認められます。申請方法など詳細については、本学ホームページを参照してください。

◎申請期限

令和7年1月22日（水）午後5時必着

◎申請先および問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL：018-872-1535

2 併願上の注意

- ① 本学および他の国公立大学の学校推薦型選抜に合格した者は、当該大学から令和7年2月19日（水）までに入学辞退の許可を得た場合を除き、本学の前期・後期日程の試験の合格者とはなりません。
- ② 本学および他の国公立大学の総合型選抜に合格した者は、本学の前期・後期日程の試験の合格者とはなりません。ただし、当該大学が定める手続きにより令和7年2月19日（水）までに入学を辞退した場合は、本学の前期・後期日程の試験の合格者となることができます。
- ③ 本学および他の国公立大学の前期日程試験に合格し入学手続きを完了した者は、本学および他の国公立大学の中期・後期日程試験を受験しても合格者とはなりません。
- ④ 本学の前期日程、後期日程の両方に出願することができます（推薦選抜Ⅲに出願中の者を含む）。

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ちできるだけ早く事前相談を行ってください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに相談してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者（担任の先生など）に連絡をとることもあります。また、事前相談で希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。相談先は、システム科学技術学部を志願する者は本荘キャンパス、生物資源科学部を志願する者は秋田キャンパスとなります。

期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合についても、速やかにご相談ください。なお、事前相談の申請を行った場合でも、本学への出願が義務づけられるものではありません。

事前相談期限	令和7年1月22日（水）午後5時まで（土・日・祝日を除く。）
--------	--------------------------------

4 出願期間および出願方法

（1）出願期間（前期日程・後期日程共通）

令和7年1月27日（月）午前9時から2月5日（水）（消印有効）

（2）出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には、郵送による提出が必要な書類（後記「出願書類」）があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日までの消印があるものに限り受理します。

(3) 入学検定料

17,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の金額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

(4) 出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)

TEL : 018-872-1535 FAX : 018-872-1670

(5) 出願書類

次の書類をすべて提出してください。

番号	書類名	摘要
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷し、大学入試センターから交付された令和7共通テスト成績請求票を所定欄に貼付して提出してください。
2	調査書	<p>① 文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過等により、調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿をもって調査書に代えることができます。</p> <p>② 高等専門学校3学年修了者および文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、①に準じて提出してください。</p> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、GCEAレベル資格取得者、国際Aレベル資格取得者、欧州バカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者および高等学校卒業程度認定試験合格者または大学入学資格検定合格者については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>なお、高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格し、一部の科目を高等学校等で修得している者は、当該学校の成績証明書も併せて提出してください。</p> <p>(注) 調査書は、発行日が令和6年4月1日以降のものを提出してください。</p>

(6) 第2志望学科の取扱いについて

前期日程、後期日程とも、出願にあたっては、両学部とも同一学部内の学科を第2志望学科として出願することを認めます。ただし、経営システム工学科については、大学入学共通テストにおける理科の選択科目によっては第2志望が認められない場合があります(9・11ページ参照)。

(7) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、注意してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの(選択科目、試験場を含む。)
- ② 本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目(9～16ページに記載)を受験していない場合は、失格となり個別学力検査等を受験することはできませんので、よく確認してください。
- ③ 前期日程、後期日程の両方に出願することができますが、その場合は、それぞれに出願書類をそろえて、別々に出願してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願書類の提出先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願書類受理後にインターネット出願ページにてダウンロードできるようになりますので印刷してください。前期日程は令和7年2月14日午前9時から、後期日程は令和7年2月28日午前9時からダウンロード可能となります。
- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(8) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
ア 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	17,000円
イ 入学検定料を誤って二重に納付した場合	17,000円
ウ 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者であることが判明した場合(該当者には本学からお知らせします。)	13,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和7年2月21日（金）午後5時必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法

大学入学共通テストおよび個別学力検査等（各学科が指定する学力検査または小論文）の成績ならびに調査書を総合して判定します。

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目および配点と個別学力検査等の実施内容および配点は次ページ以降に記載しており、平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程（以下、「新教育課程」という。）に対応した出題科目と新教育課程以外（以下、「旧教育課程」という。）に対応した出題科目をそれぞれ記載しています。このうち、大学入学共通テストの受験を要する教科・科目について、新教育課程履修者は旧教育課程による出題科目を選択解答することはできませんが、旧教育課程履修者は新教育課程による出題科目も選択解答することができます。

・システム科学技術学部

新教育課程対応：9～10ページ

旧教育課程対応：11～12ページ

・生物資源科学部

新教育課程対応：13～14ページ

旧教育課程対応：15～16ページ

なお、第2志望学科の欄に記入があった者に対しては、第1志望の学科に合格しなかった場合に第2志望学科でも合否判定します。第2志望学科の記入の有無が第1志望学科の合否に影響することはありません。

また、「入学生特待生」を希望する者は、21ページの「(3) 特待生制度」を参照してください。

◎一般選抜（システム科学技術学部） 9 ページの表の注意事項

<新教育課程対応>

一般選抜における、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の実施教科・科目等は、9 ページの表のとおりです。また、注意事項は次のとおりです。

9 ページ【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ※1 地理歴史、公民において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。
- ※2 理科において、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目を選択することができます。
- ※3 外国語「英語」には、リスニングを含みます。

○大学入学共通テストの配点について

国語：大学入学共通テストの配点200点を100点に換算します。

英語：配点はリーディング100点、リスニング100点とします。ただし、大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点を200点とします。

9 ページ【個別学力検査の利用教科・科目名】欄

- ※4 数学は、新教育課程と旧教育課程の共通の範囲から出題します。

<新教育課程>

数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは、全範囲を出題範囲とします。数学Aは「図形の性質」と「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

<旧教育課程>

数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。数学Bは、「ベクトル」と「数列」を出題範囲とします。

- ※5 理科の物理と化学は、それぞれ物理基礎・物理と化学基礎・化学の全範囲を出題範囲とします。

9 ページ【欠員補充の方法】欄

- ※6 追加合格の実施の有無については、令和7年3月28日（金）以降に本学ホームページでお知らせします。

◎一般選抜（システム科学技術学部）11ページの表の注意事項

<旧教育課程対応>

一般選抜における、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の実施教科・科目等は、11ページの表のとおりです。なお、旧教育課程履修者は、11ページに記載の大学入学共通テストの利用教科・科目のうち、地理歴史、公民、数学、情報の各教科については9ページに記載の新教育課程による出題科目（システム科学技術学部が利用する科目に限る。）も選択可能です。また、注意事項は次のとおりです。

11ページ【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ※1 大学入学共通テストの地理歴史、公民において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。
- ※2 大学入学共通テストの「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択する者は当該単位の修得を条件とします。
- ※3 理科において、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目を選択することができます。
- ※4 大学入学共通テストの外国語「英語」には、リスニングを含みます。

○大学入学共通テストの配点について

国語：大学入学共通テストの配点200点を100点に換算します。

英語：配点はリーディング100点、リスニング100点とします。ただし、大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点を200点とします。

11ページ【個別学力検査等】欄

- ※5 数学は、新教育課程と旧教育課程の共通の範囲から出題します。

<新教育課程>

数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは、全範囲を出題範囲とします。数学Aは「図形の性質」と「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

<旧教育課程>

数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。数学Bは、「ベクトル」と「数列」を出題範囲とします。

- ※6 理科の物理と化学は、それぞれ物理基礎・物理と化学基礎・化学の全範囲を出題範囲とします。

11ページ【欠員補充の方法】欄

- ※7 追加合格の実施の有無については、令和7年3月28日（金）以降に本学ホームページでお知らせします。

◎一般選抜（生物資源科学部）13ページの表の注意事項

<新教育課程対応>

一般選抜における、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の実施教科・科目等は、13ページの表のとおりです。また、注意事項は次のとおりです。

13ページ【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ※1 地理歴史、公民において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。
- ※2 理科において、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目を選択することができます。
- ※3 外国語「英語」には、リスニングを含みます。

○大学入学共通テストの配点について

国語：大学入学共通テストの配点200点を100点に換算します。

英語：大学入学共通テストの配点200点（リーディング100点、リスニング100点）を100点（リーディング50点、リスニング50点）に換算します。ただし、大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点を100点とします。

13ページ【個別学力検査の利用教科・科目名】欄

- ※4 理科の化学と生物は、それぞれ化学基礎・化学と生物基礎・生物の全範囲を出題範囲とします。
- ※5 英語は、新教育課程と旧教育課程の共通の範囲から出題します。

13ページ【欠員補充の方法】欄

- ※6 追加合格の実施の有無については、令和7年3月28日（金）以降に本学ホームページでお知らせします。

◎一般選抜（生物資源科学部）15ページの表の注意事項

<旧教育課程対応>

一般選抜における、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の実施教科・科目等は、15ページの表のとおりです。なお、旧教育課程履修者は、15ページに記載の大学入学共通テストの利用教科・科目のうち、地理歴史、公民、数学、情報の各教科については13ページに記載の新教育課程による出題科目（生物資源科学部が利用する科目に限る。）も選択可能です。また、注意事項は次のとおりです。

15ページ【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ※1 大学入学共通テストの地理歴史、公民において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。
- ※2 理科において、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目を選択することができます。
- ※3 大学入学共通テストの外国語「英語」には、リスニングを含みます。

○大学入学共通テストの配点について

国語：大学入学共通テストの配点200点を100点に換算します。

英語：大学入学共通テストの配点200点（リーディング100点、リスニング100点）を100点（リーディング50点、リスニング50点）に換算します。ただし、大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点を100点とします。

15ページ【個別学力検査等】欄

- ※4 理科の化学と生物は、それぞれ化学基礎・化学と生物基礎・生物の全範囲を出題範囲とします。
- ※5 英語は新教育課程と旧教育課程の共通の範囲から出題します。

15ページ【欠員補充の方法】欄

- ※6 追加合格の実施の有無については、令和7年3月28日（金）以降に本学ホームページでお知らせします。

6 個別学力検査等の日時、試験場等

(1) 個別学力検査等の試験日、時間割

① 前期日程

◎試験日 令和7年2月25日(火)

◎試験時間および教科

教科	システム科学技術学部	教科	生物資源科学部
理科	午前10時30分～午後0時	理科	午前10時30分～午後0時
数学	午後1時30分～午後3時	外国語	午後1時30分～午後2時30分

② 後期日程

◎試験日 令和7年3月12日(水)

◎試験時間

	システム科学技術学部	生物資源科学部
小論文	午前10時30分～午後0時	

(2) 試験場

《前期日程・後期日程共通》

志願学部	試験場所在地	試験場
システム科学技術学部	秋田県 由利本荘市	秋田県立大学本荘キャンパス
	宮城県 仙台市	東北福祉大学仙台駅東口キャンパス
	東京都 足立区	東京電機大学東京千住キャンパス
	愛知県 名古屋市	秀英予備校名古屋本部長
生物資源科学部	秋田県 秋田市	秋田県立大学秋田キャンパス
	宮城県 仙台市	東北福祉大学仙台駅東口キャンパス
	東京都 足立区	東京電機大学東京千住キャンパス
	愛知県 名古屋市	秀英予備校名古屋本部長

(3) 受験上の注意事項

① 試験当日の注意事項

- 当日は、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」と本学の「2025年度秋田県立大学受験票」の両方を必ず持参してください。
- 当日に上記受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票等の交付を受けてください。また、各受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- 受験者は、試験開始30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください。
- 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- 原則として、途中退室は認めません。

② 試験時間中の注意事項

- 所持品の取扱いについて、以下のア～ウをよく確認してください。
 - ア 個別学力検査等の試験時間中に使用を許可するものは、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのもの。ウェアラブル端末や時計以外の機能の有無が判別しづらいものも使用できません。）に限ります。これら以外のものを使用した場合は、不正行為となることがあります。
 - イ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。また、身に付けていたり手に持っていたりするだけでも不正行為となることがあります。電子機器類は、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
 - ウ 英文字等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には脱いでもらうことがあります。また、英文字等がプリントされているバッグも試験室への持ち込みはしないでください。持ち込みがあった場合は、試験終了まで預かることがあります。
- 各受験票は、試験中に試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。

③ その他の注意事項

- 前期日程において個別学力検査を1教科でも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- 昼食は各自で準備してください（前期日程のみ）。
- 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。
- 試験日の前日の午後に限り、本学本荘キャンパス、秋田キャンパスの構内の下見はできますが、試験会場への立ち入りはできません。宮城県仙台市、東京都足立区、愛知県名古屋市の各試験会場については、構内の下見および試験会場への立ち入りはできません。
- その他の受験上の注意については、必要に応じて別途通知しますので、試験当日までに確認してください。

7 合格者発表

(1) 発表日時

◎前期日程 令和7年3月 6日(木) 午後1時予定

◎後期日程 令和7年3月20日(木) 午後1時予定

(2) 発表方法

本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) 追加合格

入学手続完了者が入学定員を下回った場合には、合格者を追加することがあります。この場合の追加合格者の決定は次により行います。

なお、追加合格の実施の有無については、本学ホームページでお知らせします。

◎対象者：本学の一般選抜を受験した者で、他の国公立大学の入学手続を完了していない者

◎実施予定日：令和7年3月28日(金)

◎実施方法等：入学志願票に記載の連絡先に直接志願者本人宛に電話で連絡し、入学意思の確認を行いますので、必ず連絡がとれるようにしておいてください。なお、不在等のため、連絡・確認ができなかった場合は、入学意思がないものとして取り扱うことがありますので、ご注意ください。また、入学手続についてはその際にお知らせします。

8 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期限

◎前期日程

令和7年3月15日(土) 午後1時必着

◎後期日程

令和7年3月27日(木) 午後5時必着

② 入学手続方法

入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入学料

ア 金額	秋田県内の者	282,000円
	上記以外の者	423,000円

(注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従って、入学手続の際に納付してください。高等教育の修学支援新制度の支援対象となっている場合、入学手続時に入学料を納付し、入学後に返還となります。納付の猶予はできませんので注意してください。

なお、高等教育の修学支援新制度に伴う返還や、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付された入学料は返還しません。

② 授業料

ア 金額	年額	535,800円
------	----	----------

イ 納付方法 前期(納付期限4月30日)、後期(同10月31日)の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

9 授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について

(1) 授業料の減免

家庭の経済的事情または不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対して、高等教育の修学支援新制度に基づく授業料の減免制度があります。

(2) 奨学金

- ① 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金や高等教育の修学支援新制度についての詳細は、独立行政法人日本学生支援機構のホームページ等をご覧ください。
- ② この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

(3) 特待生制度

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する次の二つの特待生制度があります。

① 入学生特待生

大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験し、以下の要件を満たした場合、年間授業料相当額（535,800円）を4年間、奨学金として給付します。（ただし、学業成績の結果により2年次以降の奨学金が停止される場合があります。）

（認定要件）

秋田県内の高等学校等を卒業（修了）した者で、次の①から③のいずれかの要件を満たす者

- ①すべての選抜区分の入学者において、大学入学共通テストの得点率*が、システム科学技術学部および生物資源科学部の各学部で最上位の者
- ②総合型選抜および推薦選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学者で、大学入学共通テストの得点率*が70%以上である者
- ③一般選抜により選抜された入学者で、大学入学共通テストの得点率*が75%以上である者

※システム科学技術学部を受験する者は9・11ページ、生物資源科学部を受験する者は13・15ページの「大学入学共通テストの利用教科・科目」欄に記載している6教科8科目の得点率です。ただし、総合型選抜および推薦選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学者の場合は、「成績通知書」を提出した者に限ります。

② 在学生特待生

本学在学生（入学生特待生および1年生を除く。）を対象とし、前年度の通期学業成績が優秀である者の中から本学が選考し認定した者を『在学生特待生』と称し、半期授業料に相当する奨学金を給付します。

(4) 後援会

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、サークル活動や就職講座の受講等への助成等を行っています。

後援会費は4年間で50,000円です。なお、入学手続関係書類に後援会の入会案内および会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続きと併せ、入会の手続きをお願いします。

(5) 学生寮

① 概要

本学には、次のとおり生物資源科学部・研究科の学生を主な対象とした学生寮があります。

寮名	収容人数	施設概要	居室形態	寮費(月額)	所在地
清新寮	男子120名 女子120名	鉄筋コンクリート7階建 男子2～4階 女子5～7階	完全個室（風呂、 トイレ共用） フローリング6畳 ベッド台・机・ク ローゼット・冷暖 房完備	50,000円 平日2食、土日祝日3食付 光熱水費含む	秋田県南秋田郡大潟 村字南2-2 大潟キャンパス内 (秋田キャンパスからは 30キロメートル程離れ ています。)

② 通学方法

学生寮と秋田キャンパスとの間で無料シャトルバスを運行しており、授業やサークルなどの都合に合わせて利用することができます（授業期間1日7往復、長期休暇期間1日2往復程度、いずれも平日のみ）。

シャトルバス以外の通学方法としては、南秋地域広域マイタウンバス（1日5往復程度）とJRを乗り継ぐ方法があります。

③ 入寮について

入寮に関する書類は合格通知書送付の際に同封します。

募集人員については、各選抜区分の定員数により変動し、申請数が募集人数を超えた場合は抽選での選考となります。選考にあたっては、遠方から通学する方や経済的理由により入寮を希望する方を優先して入寮を許可します。詳細については、後記「学生寮に関する問い合わせ先」まで連絡してください。

結果については申請受付締切日以降、順次書面にてお知らせする予定です。

【学生寮に関する問い合わせ先】

秋田県立大学学生チーム（秋田キャンパス） TEL：018-872-1798

(6) 下宿・アパート

下宿・アパートについては、各キャンパスにおいて大学に寄せられた情報の掲示等を行っています。

(7) ノートパソコンの必携について

本学ではノートパソコンを必携としています。持参したノートパソコンは、各種授業での活用を始め、レポート等の作成、学習支援システム（manaba）の操作、履修登録や成績確認など、日常的な学習活動において幅広く利用しますので、入学までに準備してください。

なお、準備が必要となるノートパソコンの仕様については、改めて本学ホームページ等で周知しますが、すでに所有しているものが仕様に合致している場合は、新たに準備する必要はありません。また、経済的理由によりパソコンを購入できない場合は、本学からWindows ノートパソコンを貸与する制度があります。希望者は入学手続後に各キャンパスの教務チームに連絡してください。

10 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、本人に限って、口頭による簡易開示請求により、その場で閲覧することができます。ただし、合格者が10名に満たない学科は不合格者のみの開示となるので注意してください。

(1) 請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。

その際、請求者が本人であることを確認するため、必ず印刷した本学の受験票を持参してください。ただし、やむを得ない事由で開示請求に出向くことができない場合には、開示期間中に(5)に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

(2) 開示する情報 得点(個別学力検査等および大学入学共通テスト(本学で合否判定に用いた科目)の各教科別得点、総得点)

(3) 開示する期間 令和7年4月14日(月)から2週間(土・日・祝日を除く。)

(4) 開示する場所

システム科学技術学部受験者 本荘キャンパス

生物資源科学部受験者 秋田キャンパス

(5) 入学試験成績の開示についての問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム(秋田キャンパス)

TEL:018-872-1535 FAX:018-872-1670

11 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

①入学者選抜

②合格者発表

③入学手続

④次年度以降の学生募集

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

(3) 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、受験者の氏名および大学入学共通テストの受験番号に合否および入学手続等に関する個人情報を付して、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に提供します。

(4) 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。

①教務関係業務(学籍管理、学修指導等)

②学生支援関係業務(奨学金申請等)

③授業料徴収業務

(5) 本学に出願した者および保護者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

12 試験場案内

(1) 秋田県内の試験場

① 本荘キャンパス（システム科学技術学部を志願する者が対象）

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 TEL：0184-27-2100

●交通案内

- ・秋田空港から車で約50分
- ・日本海東北自動車道本荘ICから車で約5分
- ・秋田駅から羽後本荘駅までJRで約45分
- ・羽後本荘駅から車で約10分

鉄道利用：JR羽越本線「羽後本荘駅」にて下車後、徒歩で約30分

② 秋田キャンパス（生物資源科学部を志願する者が対象）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438 TEL：018-872-1535

●交通案内

- ・秋田空港から車で約1時間
- ・秋田駅からバス（五城目線、追分線）で約40分
- ・秋田駅から車で約30分
- ・秋田駅から追分駅までJRで約15分
- ・追分駅から徒歩で約20分

鉄道利用：JR奥羽本線・男鹿線「追分駅」にて下車後、徒歩で約20分

バス利用：JR奥羽本線「秋田駅」からバス（五城目線、追分線）を利用して、バス停「追分三叉路」（約40分）にて下車後、徒歩で約15分

(2) 宮城県仙台市の試験場

○ 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

〒983-8511 宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-26

●交通案内

JR仙台駅東口より徒歩約2分

(3) 東京都足立区の試験場

○ 東京電機大学東京千住キャンパス

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

●交通案内

北千住駅東口（電大口）から徒歩約1分

(4) 愛知県名古屋市の試験場

○ 秀英予備校名古屋本部校

〒464-0075 愛知県名古屋市千種区内山3-23-12

●交通案内

JR中央本線千種駅から徒歩約1分

地下鉄東山線千種駅から徒歩約1分

《受験生の方へ》

試験当日の所持品チェック表

1	「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」	
2	「2025年度秋田県立大学受験票」	
3	HBの鉛筆（シャープペンシル可）	
4	消しゴム	
5	鉛筆削り	
6	時計（時計機能のみのもの）	
7	昼食（前期日程のみ）	
8	健康保険証	

出願、受験、その他の問い合わせ先

システム科学技術学部

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム（本荘キャンパス）

TEL：0184-27-2100

FAX：0184-27-2180

生物資源科学部

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL：018-872-1535

FAX：018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

（右記のQRコードからアクセスできます。）



◎メールアドレス

nyushi-apu@akita-pu.ac.jp